

令和8年度広聴機能強化研修(市民の声を「かたち」に)業務委託にかかる
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

令和8年度広聴機能強化研修(市民の声を「かたち」に)業務委託
契約期間:契約締結日から令和9年2月26日まで

2 優先交渉権者

株式会社アイシーエル

3 公募期間

令和8年7月29日から令和8年8月19日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定会議による審査の結果

(1)選定委員名簿(敬称略、五十音順)

委員氏名	役職等
井上 景介	京都市総合企画局市長公室 自主広報・広聴担当課長
立石 友美	公益財団法人大阪府市町村振興協会 おおさか市町村職員研修研究センター(マッセ OSAKA) 主査
村上 美紀	奈良県知事公室 広報広聴課長

(2)選定会議の開催日

第1回 令和8年7月17日

第2回 令和8年10月2日

(3) 審査基準

審査項目	着眼点	配点
(1) 研修カリキュラムの妥当性(15 点)	① 仕様書に整合した研修カリキュラムとなっているか	5
	② 本研修の主な目的である職員の心構えの醸成、聴き取り技法の習得、意見の分析手法の習得が達成できるものとなっているか。	10
(2) 提案のセールスポイント(45 点)	③ 受講者のスキルアップなど、具体的に効果の期待できるカリキュラムとなっているか。	15
	④ 民間事業者ならではのノウハウや手法が効果的に活かされた提案、かつ独自性に富んだ先進的な内容となっているか	15
	⑤ 提案内容に創意工夫が見られ、特色がでているか	15
(3) 類似業務実績の豊富さ及び運営体制(30 点)	⑥ 事業者は、官公庁・民間企業等において、広聴業務に関する十分な研修実績を有しているか。	10
	⑦ 本研修事業の実施にあたり、提案した事業を確実に遂行できる運営体制が確保されているか。	5
	⑧ 講師は、官公庁・民間企業等において、広聴業務に関する研修実績を有しているか。	15
(4) 費用積算根拠の妥当性・効率性(10 点)	⑨ 費用見積書は提案した事業を遂行するに適したものとなっているか。	10
合 計		100

(4) 審査を行った事業者(五十音順)

FPM- α

株式会社アイシーエル

株式会社日本マネジメント協会

全3者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

審査項目	着眼点	全委員の 配点合計	A社	B社	C社
(1) 研修カリキュラムの妥当性	① 仕様書に整合した研修カリキュラムとなっているか	15	14	11	13
	② 本研修の主な目的である職員の心構えの醸成、聴き取り技法の習得、意見の分析手法の習得が達成できるものとなっているか。	30	26	22	26
(2) 提案のセールスポイント	③ 受講者のスキルアップなど、具体的に効果の期待できるカリキュラムとなっているか。	45	39	33	33
	④ 民間事業者ならではのノウハウや手法が効果的に活かされた提案、かつ独自性に富んだ先進的な内容となっているか	45	36	30	27
	⑤ 提案内容に創意工夫が見られ、特色がでているか	45	39	33	30
(3) 類似業務実績の豊富さ及び運営体制	⑥ 事業者は、官公庁・民間企業等において、広聴業務に関する十分な研修実績を有しているか。	30	26	26	24
	⑦ 本研修事業の実施にあたり、提案した事業を確実に遂行できる運営体制が確保されているか。	15	11	12	12
	⑧ 講師は、官公庁・民間企業等において、広聴業務に関する研修実績を有しているか。	45	36	39	30
(4) 費用積算根拠の妥当性・効率性	⑨ 費用見積書は提案した事業を遂行するに適したものとなっているか。	30	18	24	18
合 計		300	245	230	213